




ALESIS

MULTIMIX 4 USB FX

ユーザガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替いを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://alesis.jp/>

ALESIS <お問い合わせ>

inMusic Japan カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザガイド

同梱品

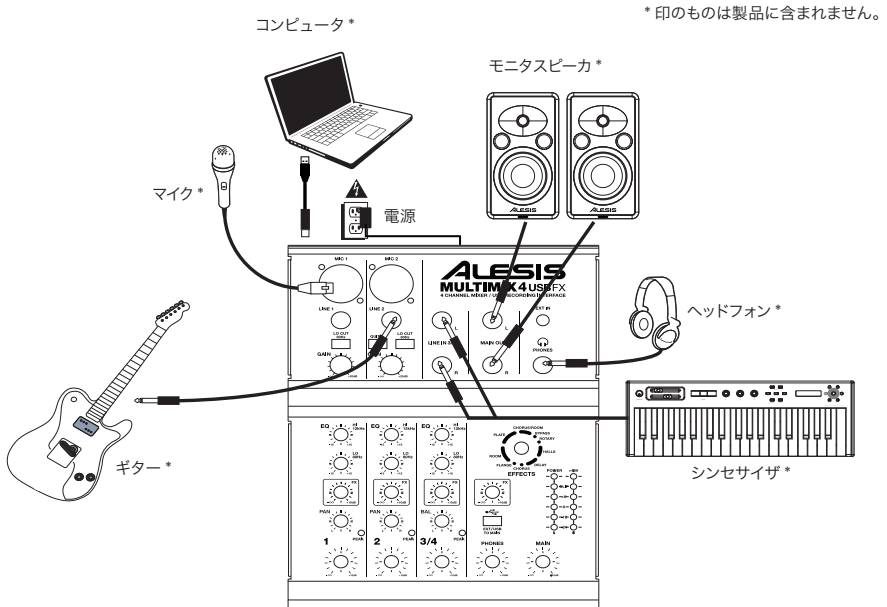
- ・ MultiMix 4 USB FX 本体
- ・ USB ケーブル
- ・ AC アダプタ
- ・ Cubase 7 LE (ダウンロード)
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

サポート

MultiMix 4 USB FX の最新情報 (システム要件や互換性など) につきましては、製品ページをご覧ください。
<http://alesis.jp/multimix4usbfx/>

Alesis 製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。
<http://alesis.jp/support/>

接続例



システム要件

MultiMix 4 USB FX (以下、MM4USB FX) を USB オーディオ・インターフェイスとして使用するには、以下のコンピュータ・システムが必要です。

- ・ Mac : OS X 10.6~
- ・ Windows : Windows XP~
- ・ USB ポート

付属の Cubase 7 LE は、Mac OS X 10.8~、Windows 7~に対応しています。

オーディオ設定

MM4USB FX は、クラス・コンプライアント・デバイスですので、USB オーディオに対応しているほとんどの DAW (デジタル・オーディオ・ワークステーション) や音声録音編集ソフトウェアに対応しています。それらのソフトウェアのオーディオ設定画面で、オーディオ入出力のデバイスとして MM4USB FX を選択してください。

ご使用のコンピュータの基本設定は以下の通りです。

重要: Windows コンピュータにてご使用されているソフトウェアのオーディオ設定を行った後、発音遅延が大きい場合には、フリーウェアの汎用 ASIO ドライバ「**ASIO4ALL**」をお勧めしております (www.asio4all.com)。一般的に ASIO ドライバはソフトウェアとオーディオ機器間のやりとりを効率よく行います。

Windows 8 :

1. 付属の USB ケーブルを使用し、MM4USB FX をコンピュータに接続します。
2. **スタートメニュー**から、左下の隅にあるアイコンをクリックし、デスクトップへ移動してください。
3. タスクバーの右下にボリュームを調整するスピーカアイコンがあります。
4. スピーカアイコンを右クリックし、**再生デバイス**を選択します。コントロールパネルのメニュー**サウンド**の「再生」タブのウィンドウが表示されます。
5. もし表示される再生デバイスの「MultiMix 4 USB FX」に緑色のチェックのマークがついていない場合は、右クリックをして「既定のデバイスとして設定」を選択します。

Windows 7 :

1. MM4USB FX とコンピュータを USB ケーブルで接続します。
2. **スタート・メニュー > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド**の順に進みます。
3. 「再生」タブをクリックし、「MultiMix 4 USB FX」を選択します (既定のデバイスとして設定)。
4. 「録音」タブをクリックし、「MultiMix 4 USB FX」を選択します (既定のデバイスとして設定)。
5. 右下の「プロパティ」をクリックします。
6. 「詳細」をクリックし、「2 チャンネル、16 ビット、44100Hz」を選択します。
7. 「排他モード」の 2 つのチェックを外します。
8. 「レベル」タブをクリックし、レベルスライダを「4」にセットします。
9. 「OK」をクリックして**プロパティ**・ウィンドウを閉じます。
10. 「OK」をクリックして**サウンド**・コントロールパネルを閉じます。

Windows Vista :

1. MM4USB FX とコンピュータを USB ケーブルで接続します。
2. **スタート・メニュー > コントロールパネル > サウンド**の順に進みます (もしサウンドが見当たらない場合は、クラシックビューに切り替えを行うことで表示されます)。
3. 「再生」タブをクリックし、**USB Audio Codec**を選択します (既定のデバイスとして設定)。
4. 「録音」タブをクリックし、**USB Audio Codec**を選択します (既定のデバイスとして設定)。
5. 右下の「プロパティ」をクリックします。
6. ウィンドウ内の「詳細」をクリックし、「2 チャンネル、16 ビット、44100Hz」を選択します。
7. 「排他モード」の 2 つのチェックを外します。
8. 「OK」をクリックして**プロパティ**・ウィンドウを閉じます。
9. 「OK」をクリックして**サウンド**・コントロールパネルを閉じます。

Windows XP :

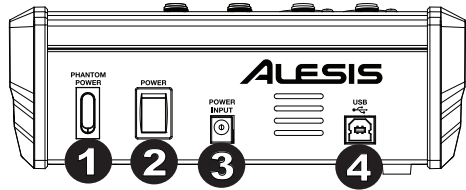
1. MM4USB FX とコンピュータを USB ケーブルで接続します。
2. **スタート・メニュー > コントロールパネル > サウンドとオーディオデバイス**の順に進みます。
3. 「オーディオ」タブをクリックします。
4. 「音の再生」と「録音」の下、**USB Audio Codec**を選択します (既定のデバイスとして設定)。USB オーディオ・デバイスが他にもコンピュータに接続されている際は、同一の名称で複数表示されることがございます。この場合は、本機に該当すると思われるいずれかひとつの USB オーディオ・デバイスを選択してください。
5. 「OK」をクリックします。

Mac OS X :

1. MM4USB FX とコンピュータを USB ケーブルで接続します。
2. システム環境設定 > サウンドの順に進みます。
3. 「出力」タブをクリックし、MultiMix 4 USB FX を選択します。
4. 「入力」タブをクリックし、MultiMix 4 USB FX を選択します。
5. ウィンドウを閉じます。

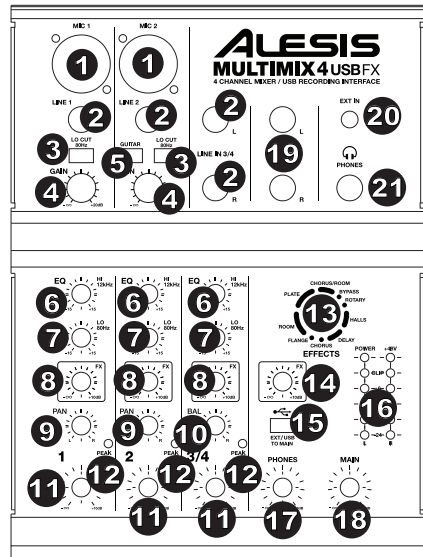
リアパネル

1. **ファンタム電源** - このスイッチでファンタム電源のオン・オフを行います。オンの場合、XLR マイク端子に接続したコンデンサマイクに、+48V の電源が供給されます。一般的には、ダイナミックマイクではファンタム電源は不要です。お使いのマイクをご確認ください。
2. **電源スイッチ** - MM4USB FX 本体の電源のオン・オフを行います。電源を入れる場合は、接続されているアンプやスピーカの電源を入れる前にミキサの電源をオンにしてください。電源を切る場合は、アンプやスピーカの電源を切ってからミキサの電源をオフにしてください。
3. **電源コネクタ** - 付属の AC アダプタ (18V DC、800mA、センタ+) を接続します。
4. **USB 端子** - 付属の USB ケーブルを使用して、MM4USB FX とコンピュータを接続します。



トップパネル

1. **マイク入力端子** - XLR (キャノン) ケーブルを使用して、マイクを接続します。
2. **ライン入力端子** - 標準プラグ・ケーブルを使用して、ラインレベルのデバイスを接続します。
3. **LO CUT スイッチ** - このスイッチを押すと、ハイパス (ローカット) ・フィルタがオンになり、80Hz 以下の信号を減衰させます。
4. **GAIN ノブ** - チャンネルのフェーダと EQ に送られる前のレベル (PRE) を調整します。設定の目安は、曲の最大音量部分で PEAK の LED が点灯するくらいが適切です。
5. **GUITAR スイッチ** - ギターやベースなど、ハイインピーダンスの楽器を接続する場合に、このスイッチをオンにします。チャンネル 2 のみの機能です。
6. **HI EQ ノブ** - 高域の周波数帯のレベルを調整します。
7. **LO EQ ノブ** - 低域の周波数帯のレベルを調整します。
8. **FX センド・レベル** - 内蔵エフェクタに送る信号レベル (POST) を調整します。
9. **PAN** - チャンネル 1 とチャンネル 2 の定位 (L~R) を調整します。
10. **BAL (BALANCE)** - チャンネル 3/4 のバランスを調整します。
11. **ボリュームノブ** - 各チャンネルの音量を調整します。
12. **PEAK LED** - 信号が大きすぎてクリップするとこの LED が点滅します。その場合は、GAIN ノブやボリュームノブで音量を抑えてください。
13. **EFFECTS セレクタ** - 内蔵エフェクタの種類を選びます。各チャンネルのかかり具合は、それぞれの FX センド・レベルで調整します。詳しくは、後述のエフェクトの項目をご参照ください。
14. **FX リターン・レベル** - 内蔵エフェクタの出力音量を調整します。



15. **EXT/USB TO MAIN スイッチ** - このスイッチをオンにすると、EXT 入力端子および USB 端子経由のコンピュータ・ソフトウェアからの音声信号をミキサのメイン出力（とヘッドフォン出力）にルーティングします。
16. **LED メータ** - メインミックスのレベルを表示します。頻繁に CLIP LED が点灯する場合は、メインボリュームを下げてください。
17. **ヘッドフォンレベル** - ヘッドフォン出力の音量を調整します。
18. **メインボリューム** - メイン出力の音量を調整します。
19. **メイン出力** - 1/4" TRS プラグで、外部のアンプやスピーカ、レコーダなどに接続します。音量は、メインボリュームで調整します。
20. **EXT 入力端子** - 1/8" TRS プラグで、テープデッキや CD プレーヤ、MP3 プレーヤなどを接続します。EXT/USB TO MAIN スイッチを押すことで、メイン出力にルーティングします。
21. **ヘッドフォン出力** - ヘッドフォンを接続します。

エフェクト

リバーブ・エフェクト

- ・ **HALL 1** : 大きなコンサート・ホールのきらびやかな残響を付加します。ボーカルや楽器に適しています。
- ・ **HALL 2** : 大きなコンサート・ホールの温かい残響を付加します。ドラムやピアノなどの楽器に適しています。
- ・ **ROOM 1** : 中程度の部屋のきらびやかな残響を付加します。リードギターなどの楽器に適しています。
- ・ **ROOM 2** : 小さめの部屋の反射の多い残響を付加します。ドラムやパーカッション、エレキギターなどの楽器に適しています。
- ・ **ROOM 3** : 大きめの部屋の暖かい残響を付加します。アコースティック楽器に適しています。
- ・ **PLATE 1** : 長めのディケイを持つ、スムーズなボーカル用プレート・リバーブです。
- ・ **PLATE 2** : 中程度のディケイを持つ、ビンテージ・プレート・リバーブです。
- ・ **PLATE 3** : 短くきらびやかなプレート・リバーブです。繊細な音づくりに適しています。

モジュレーション・エフェクト

- ・ **CHORUS** : 短いディレイのモジュレーションにより、ゆっくりとしたツヤのあるコーラス効果を付加します。
- ・ **FLANGE** : クラシックなフランジャです。
- ・ **ROTARY** : オルガンなどに使用される回転式スピーカの効果をシミュレートします。ギターやボーカル、キーボード等に適しています。

ディレイ・エフェクト

- ・ **DELAY 1** : フィードバックの無いシンプルなディレイです。ボーカルやリズム・ギターに適しています。
- ・ **DELAY 2** : 中程度の長さで、フィードバックありのディレイです。エコーを強調したいソロパートなどに適しています。

マルチ・エフェクト

- ・ **CHORUS - ROOM 1** : 遅めの CHORUS モジュレーションと ROOM リバーブの組合せで、スペース的な効果を作ります。
- ・ **CHORUS - ROOM 2** : 早めの CHORUS モジュレーションと短い ROOM リバーブの組合せで、劇的なコーラス効果を作ります。

BYPASS : エフェクトをバイパスします。

付録

仕様

電源：	AC アダプタ (18V DC、800mA、センタ+)
入力チャンネル：	MIC INPUT 入力感度：-69dBu to -19dBu 公称、+14dBu 最大 LINE INPUT 入力感度：-49dBu to +1dBu 公称、+18dBu 最大 Guitar INPUT 入力感度：-49dBu to +1dBu 公称、+10dBu 最大 MIC INPUT / LINE INPUT ゲイン・レンジ：-∞ to +20dB
イコライザ：	HI：12kHz、±15dB LO：80Hz、±15dB
AUX センド：	ゲイン・レンジ：-∞ to +10dB
AUX リターン：	ゲイン・レンジ：-∞ to +10dB
チャンネル・レベル：	ゲイン・レンジ：-∞ to +10dB
USB オーディオ I/F：	サンプリング周波数：44.1/48kHz 解像度：16bit インターフェイス：USB1.1 以上

商標及びライセンス

Alesis は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Cubase と ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

Mac と OS X は、Apple Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国々での登録商標です。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

alesis.jp